

# 特集／成人式 **大きくはばたけ**

1月7日、ウイングまつばせ文化ホールで成人式が開かれました。式当日は3連休の中日とあって、県内外から帰省する人も多く、男性315人、女性341人の計656人が出席しました。新成人のあいさつでは田端三大さん（三角中出身）が「感謝の気持ちを忘れず、素直に『ありがとう』と言える人間になりたい」と述べました。今年の宇城市の新成人は、836人（男性408人、女性428人）。式に出席した新成人に、成人式を迎えての思いを語ってもらいました。



新成人のあいさつで抱負などを述べる田端さん

■家族や友達に感謝の気持ちでいっぱいです。



上村亜友美さん  
（三角中出身）

現在、保育士になるために専門学校に通っています。成人式実行委員として会合に参加するごとに、成人になるという実感がわいてきました。今までたくさんの人と出会い、経験を重ね、さまざまなことを学び、ここまで成長することができました。今日まで育ててくれた家族に対する感謝の気持ちを忘れず、今までの出会い、これからの出会いを大切に、誰にでも頼られる大人になりたいと思います。

■これまで以上に責任を持ちたいです。



前田真友子さん  
（青海中出身）

成人式を迎えて思うことは、これまで以上に自分に対しての責任を持たなくてはいけないということ。これまでの20年間、家族や友人、周囲の人に甘え、人任せな部分が多かったように思います。今後は「大人」という自覚をしっかりと持ち、感謝の気持ちを忘れずに行動したいと思います。あと2年、学生生活が残っているので、今しかできないことをたくさん経験して将来に生かせるよう、社会勉強もしていきたいです。

■自覚を持ち責任ある行動をしたいです。



山内 公貴さん  
（不知火中出身）

現在、三角町にあるリハビリの学校に在籍し、理学療法士を目指して勉強しています。成人式を迎えて思うことは、これからは自覚をしっかりと持ち、責任ある行動をしなければならないということ。これから高齢社会という大きな問題が浮上してきますが、私たちが今後の日本を支えていかなければならないということ。肝に銘じ、それに対応できる大人になっていかなければと感じています。

■ここまで育ててくれた人たちに感謝しています。



河内 泰幸さん  
（小川中出身）

現在は県内の大学に通っています。今はまだ両親の世話になることが多いので、成人したという実感はありません。まだまだ未熟ですが、今日を境に一人の大人としての自覚を持ち、一つ一つの行動に責任を取れるよう、心身ともにしっかりと成長したいと思っています。そして両親のような人間になり、恩返しすることができればと思っています。

■大人として自覚を持ち、もっともっと成長したいです。



豊田 美加さん  
（松橋中出身）

もう成人式!? もっと先のことだと思っていたので、自分でも不思議な感じがしますが、両親や周りの方々の支えがあり、節目の年を迎えることができましたのだと幸せに思います。現在は大学に通い、目標に向かってさまざまなことに挑戦しています。二十歳になり、大人としての自覚を持ち、これからはもっともっと成長していきたいです。

■両親への感謝の気持ちでいっぱいです。



遠山 幸希さん  
（豊野中出身）

学生なので成人を迎えた実感あまりありません。両親に迷惑を掛けている面がたくさんあります。小中高と運動部に入っていた私は、大学でも部活をしていて、勉強・スポーツ・アルバイトと充実過ぎるくらいの生活を送っています。気持ちはまだまだ高校生ぐらいですが、これからは行動や考え方に責任を持ち、「自分」を持っていきたいです。また、私には夢があり、2年後にはそれがかなうように頑張りたいです。